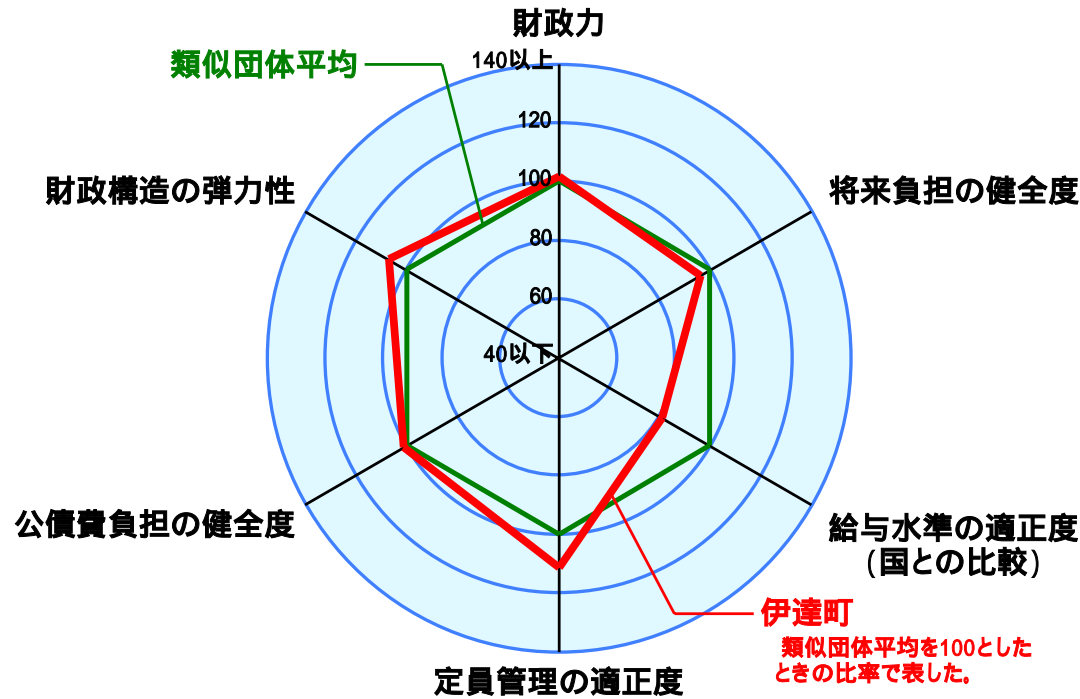
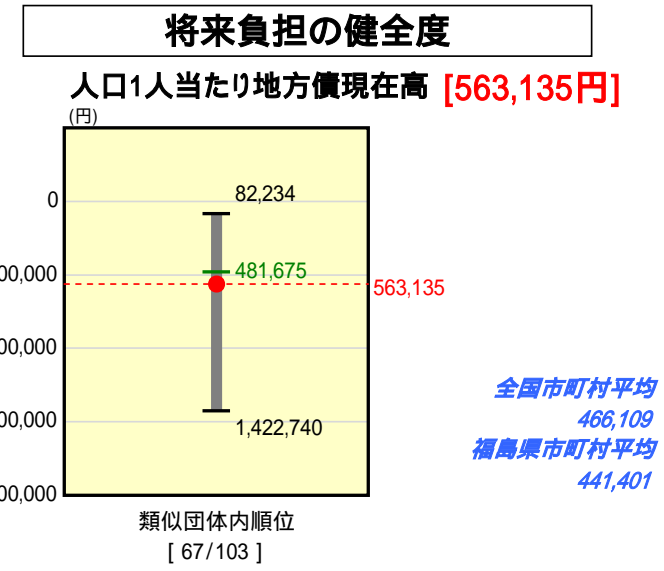
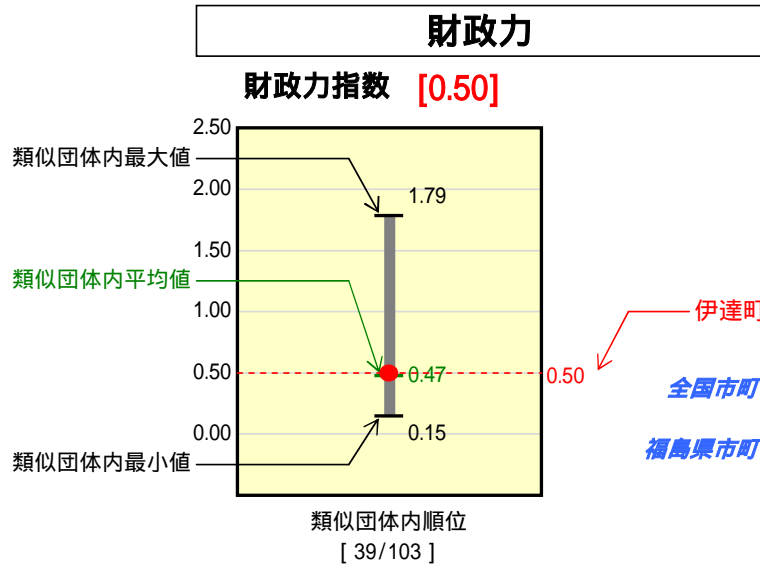


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 福島県 伊達町

人口	11,082人(H17.3.31現在)
面積	9.22 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,620,690千円
歳出総額	3,516,596千円
実質収支	104,025千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**：ここ3年間で連続した伸びを見せており、0.50となっている。歳入における町税の割合が31%を超えていること、平成14年度、15年度「県税務職員の市町村税務職員への委任による個人町民税徴収制度」の活用により習得した収納技術等を徴収事務に生かしてきたこと等が要因として挙げられる。

**経常収支比率**：平成16年度当初予算編成における物件費の削減により、類似団体平均を下回っているが、普通交付税の減少、人件費、扶助費、補助費等の増加により、対前年度6.3ポイント上昇した。経常収支比率85.9%の構成比として、人件費に係るものが29.3%、公債費に係るものが21.3%となっており、定員適正化による人件費の削減、起債事業の抑制による公債費の削減に努め、比率低下を図る。

**起債制限比率**：ケーブルテレビ、図書館、保健センターの複合施設整備事業によるリーディングプロジェクト事業終了の平成11年度以降から、起債抑制に努めており、類似団体平均を下回っている。地方債発行額の上限設定等により、引き続き水準を抑える。

**人口1人あたり地方債残高**：類似団体平均を上回っている。平成8～10年度に実施したリーディングプロジェクト事業に27億円の起債を充当したことによるもので、その償還が平成12年度から平成30年度まで続き、償還総額は34億円になることが要因として挙げられる。重点事業の選別により、起債事業を極力抑える。

**ラスパイレス指数**：今年度のラスパイレス指数は、経験年数階層の変動による要因が大きく、前年比で2.3ポイントの増となった。給与体系の見直し(55歳昇給停止、枠外昇給制度、退職時特別昇給、級別格付け等)が現在検討中であり、類似団体の中でも高い水準にあり、また、全国市町村平均よりも上回っている。

**人口1,000人あたり職員数**：総務省通知に基づく定員適正化計画により、平成12～16年度の間、具体的数値目標を設定し定員管理の適正化を図ってきたため、類似団体の中でも低い水準にあり、また、全国市町村平均よりも下回っている。

